

薩摩川内市スポーツ交流研修センター

竣工記念講演会

■講師

全日本女子バレーボールチーム 眞鍋政義 監督

全日本男子バレーボールチーム 植田辰哉 監督

■テーマ

「オリンピック選手の育て方、これからの子供たち」

■とき 平成24年11月25日（日）10:00～12:00

■ところ サンアリーナせんだい

◆記念講演会 式次第◆

1 市長あいさつ

2 来賓あいさつ

3 来賓紹介

4 講演

テーマ「オリンピック選手の育て方、これからの子供たち」

5 閉会のあいさつ

※講演会終了後、サイン会とスポーツ交流研修センター見学会

■バレーボール教室《14:00～16:00》

主催／薩摩川内市・薩摩川内市教育委員会 主管／薩摩川内市バレーボール協会

講師プロフィール



■ 眞鍋政義 (まなべ まさよし)



生年月日 1963年8月21日(49歳)
出身地 兵庫県姫路市
体 格 身長:188cm 体重:87kg
選手歴 大阪商業大学高等学校 ⇒ 大阪商業大学 ⇒ 新日鉄製鐵
イベコ パレルモ(イタリア) ⇒ 旭化成スーパーキッズ ⇒
松下電器パナソニックパンサーズ ⇒ 旭化成スーパーキッズ
指導歴 久光製薬スプリングス ⇒ 全日本女子

大阪商大高校に進学後セッターに転向し、インターハイ優勝に貢献した。大阪商大進学後は、西日本インカレ・関西リーグ完全優勝を経験。1985年神戸ユニバーシアードに出場し、同年全日本代表に初選出され、1985年ワールドカップに出場した。

1986年、新日鉄製鐵に入社。日本リーグ3連覇・黒鷲旗3連覇など、新日鉄黄金時代に中心選手として貢献。全日本代表としても、1988年のソウルオリンピックなど数多くの国際大会に出場。1993年からは新日鉄の選手兼任監督に就任し、第3・4回Vリーグでのリーグ連覇に導いた。

1999年、新日鉄を退社した後は、イタリア・セリエA・パレルモに移籍。2000年に帰国し、旭化成に入団。2002年松下電器へ移籍したのち、2004年、旭化成に復帰した。

2005年、現役引退後、女子の久光製薬スプリングス監督に就任し、1シーズン目からVリーグ準優勝となり、黒鷲旗では初優勝をもたらした。2007年、プレミアリーグで久光を5シーズンぶりの優勝に導いた。

2008年12月、全日本女子チームの監督に就任。2010年11月の世界選手権では、同大会で32年ぶりとなる銅メダルを獲得。2012年のロンドンオリンピックでは、オリンピックで28年ぶりとなる銅メダルを獲得。



■ 植田辰哉 (うえた たつや)



生年月日 1964年7月25日(48歳)
出身地 香川県東かがわ市(旧大川郡白鳥町)
体 格 身長:196cm 体重:88kg
選手歴 大阪商業大学高等学校 ⇒ 大阪商業大学 ⇒ 新日鉄製鐵
指導歴 新日鉄製鐵(堺ブレイザーズ) ⇒ 全日本ジュニア男子 ⇒
全日本男子

新日鉄では、センタープレイヤーとして日本バレーボールリーグベスト6賞を5年連続受賞。

全日本男子では1992年バルセロナオリンピックにキャプテンとして出場するなど活躍。

指導者としては、新日鉄ブレイザーズ監督、全日本ジュニア男子チーム監督などを歴任。

2004年全日本男子暫定監督に就任し、翌年の2005年に代表監督を要請され、正式に就任した。この年のアジア選手権で5大会10年ぶりの優勝を果たした。

2006年の世界選手権で1982年の4位以来となる8位入賞する。ドーハアジア大会では5位。

2008年、監督として采配を振った北京オリンピックバレーボール世界最終予選に於いて、1992年のバルセロナ五輪以来16年ぶりの五輪出場権を獲得した。

2009年、アジア選手権で2大会ぶりの優勝。グランドチャンピオンズカップで、主要国際大会では32年ぶりの銅メダルを獲得。

2010年、広州アジア大会で4大会16年ぶりの金メダルを獲得。

2012年6月、ロンドンオリンピック世界最終予選は全体4位(アジア3位)に終わり2大会連続の五輪出場はならなかった。